

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

医療のアンメットニーズに創薬の光をあてる研究開発を推進し、人類の健康に貢献

利益率目標
50%

② 中長期の経営戦略

1. 臨床開発及び導出戦略

CBA-1205とCBA-1535の臨床開発を進め、安全性・有効性確認後に導出。CBA-1205は肝細胞がん、メラノーマ、小児がんで複数適応を追求

3. パイプライン拡充

ステージの異なる複数パイプラインの確保。前臨床段階からの提携・共同研究で開発ポートフォリオを充足し、開発候補品を断続的に保持

2. 継続的リード抗体創出

アカデミアとの共同研究でアンメットニーズ対応のリード抗体を創出。PFKR導出に続きPCDC、PTRY、PXLの導出を推進。DoppelLib™ 開発

4. 創薬研究と事業開発の連動

業界開発動向や医療ニーズ調査で最適ターゲット選定と出口戦略を策定。製薬企業との情報交換でニーズを発掘し早期導出を実現

③ 対処すべき課題

① 抗体作製力強化とリスク分散

- ・パイプライン開発中止リスクへの対応と複数パイプライン保有による経営リスク分散
- ・抗体作製技術改良と創薬ノウハウ蓄積で創薬力を強化し新薬創出機会を向上
- ・導出先企業の戦略変更に対応した事業ポートフォリオ管理

② 初期臨床開発の着実推進

- ・CBA-1205とCBA-1535で導出時の収益性向上とデータ取得に注力
- ・早期導出と承認成功確率のバランス（成功確率10～20%）を踏まえた開発戦略

③ 人材・設備確保と事業拡大対応

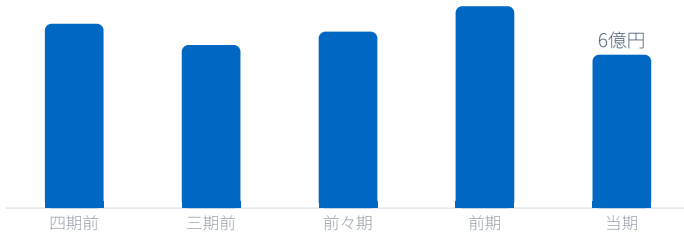
- ・創薬経験者の優秀人材確保と社内人材育成
- ・顧客ニーズ把握と質の高い研究開発支援を実現する研究環境の整備

面接で使えるポイント

- ・ADLib®システムなど複数の抗体作製技術を保有し、アンメットニーズの高い疾患創薬に注力する経営姿勢
- ・CBA-1205で肝細胞がん・メラノーマ・小児がんの複数適応を追求し、製品価値最大化を目指す戦略
- ・2025年IDDビジネス立ち上げで製薬企業パートナーの研究開発ニーズに対応し、創薬支援事業で利益率50%を目指す成長計画

証券コード 4583

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
44点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 47.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
768万円

医薬品内 52位/80社

平均年齢
45.8歳

医薬品内 32位/80社

平均勤続
6.3年

医薬品内 49位/80社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: (株)カイオム・バイオサイエンス【4583】：配当情報

